



本校教諭が「タイ派遣プログラム」に参加しました

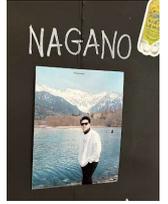
外国語科・教諭の盛田彩花です。2月16日から21日の6日間、文部科学省委託「タイ政府日本教職員招へいプログラム(タイ派遣プログラム)」に参加し、タイの学校を視察してきました。今回は特別号として、プログラムでの体験内容やタイの学校の様子をお届けします!



▲全国から8名の教員が参加しました。校種も教科も違うメンバー同士、お互いに刺激を与えあう素晴らしい仲間でした!



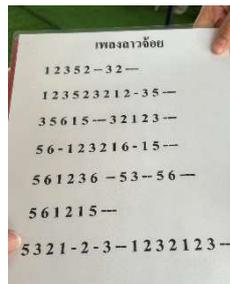
◀タイの学校は日本と同じ6・3・3制。義務教育も中学校までと共通点多いです。一方で、タイ語の教科書では、仏教の教えが盛り込まれているなどの違いもあり、興味深い点多かったです。



▲カセサート大学実験校・小学部の様子。この日は本物のお金(パーツ)を使った模擬商店を開催していました!同校は日本語を学ぶコースも設置されており、日本語の先生は長野県にも来てくれたようです!



▲ナコンパトム聾学校では、耳の不自由な生徒たちが伝統楽器の演奏を発表してくれました!演奏に感動すると同時に、楽譜が数字で示されていることに驚きました。



▲ウィッタヤライ学校は中高一貫校で、元気のよい生徒が多い印象でした!「指先の芸術」と呼ばれるタイ舞踊を、生徒に教えてもらいましたが…生徒の美しさは段違いです。



▲プッタモンタン産業コミュニティ専門学校では着物体験と日本のお菓子をプレゼントし、大盛り上がり!調理コースの生徒が目の前でトムヤムクンをふるまってくれました!



▲タイの伝統工芸や料理を、授業料無料で学ぶことができるカンチャナビセク非公式教育センター。学生たちのひたむきな姿が印象的でした。私たちも一部を体験しました♪



▶理数系のトップ校・マヒドン高校では、書道と数独で交流してきました。タイに筆の文化はないとのことで、新鮮な体験となったようでした!一方で数独はタイでも浸透しているようで、多くの生徒が経験あり。理系学校ともあり、すさまじい集中力でした!



★今後は本プログラムでの経験を活かし、本校での交流活動を実施したいと考えています。本記事についての感想・質問、または交流活動への参加希望やご助言等ありましたら、右のQRコードからフォームを開き、ご回答ください。(盛田 彩花)



本校より



▲3月2日、16期生の卒業式が挙行されました。保護者の皆様、また温かく見守って頂いた地域の皆様に改めて御礼申し上げます。